

2 - 1 東北地方およびその周辺の微小地震活動 (1978 年 11 月～1979 年 4 月)

Microseismic Activity in and near the Tohoku District (November, 1978-April, 1979)

東北大学 理学部
Faculty of Science, Tohoku University

前報¹⁾に引き続き、1978 年 11 月～1979 年 4 月の期間における東北地方およびその周辺の微小地震活動について報告する。

第 1 図および第 2 図は、この期間の各 3 ヶ月毎の浅発地震（深さ 30km 以浅）の震央分布図である。11 月中旬から始まった山形県白鷹付近の群発地震活動が第 1 図に、9 月から続いている青森県岩崎村付近の群発地震活動²⁾が第 1 図および第 2 図にみられる。

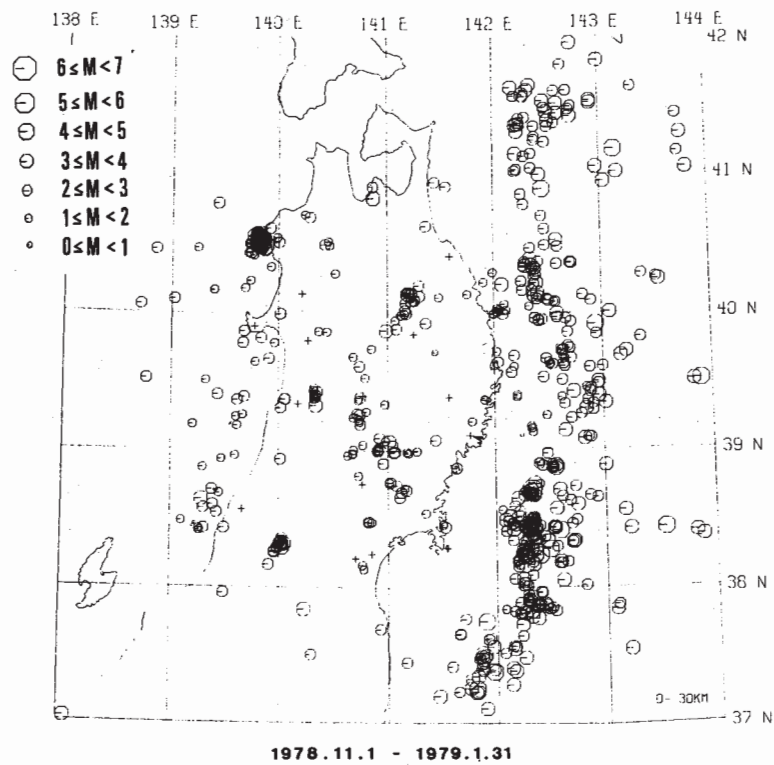
第 3 図に山形県白鷹付近の群発地震活動の推移を示した。東北大学で震源決定した地震の日別頻度分布である。1979 年 1 月 2 日に $M = 3.1$ と 3.5 の地震が発生した。

第 4 図は、三陸沖の $40^{\circ}\text{N} \sim 41^{\circ}\text{N}$, $143^{\circ}\text{E} \sim 145^{\circ}\text{E}$ の領域で発生した 1979 年 2 月 20 日、 $M = 6.5$ の地震の余震活動を示したものである。余震は深さ 35 ～ 50km の範囲に分布している。

第 5 図は、観測網直下 $38^{\circ}\text{N} \sim 41^{\circ}\text{N}$, $140^{\circ}\text{E} \sim 142^{\circ}\text{E}$ の領域内に震源決定された深さ 50km 以深の稍深発地震の各観測点における P 波走時残差を示したものである。8 点以上で観測された地震のみ用いている。

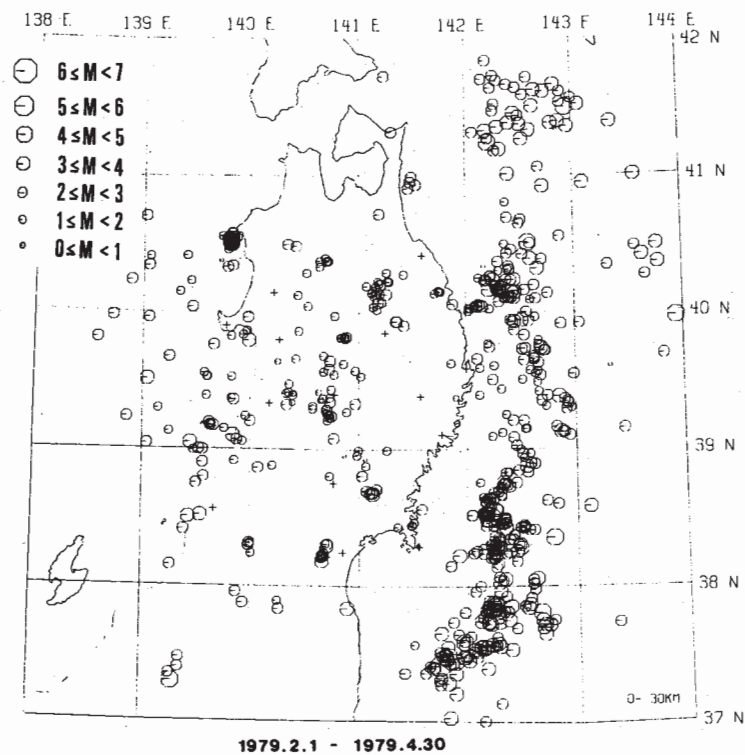
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部：東北地方およびその周辺の微小地震活動（1978 年 5 月～1978 年 10 月），連絡会報，**21**（1979），47 - 49.
- 2) 東北大学理学部：青森県西海岸（岩崎付近）の地震活動，連絡会報，**21**（1979），50 - 54.



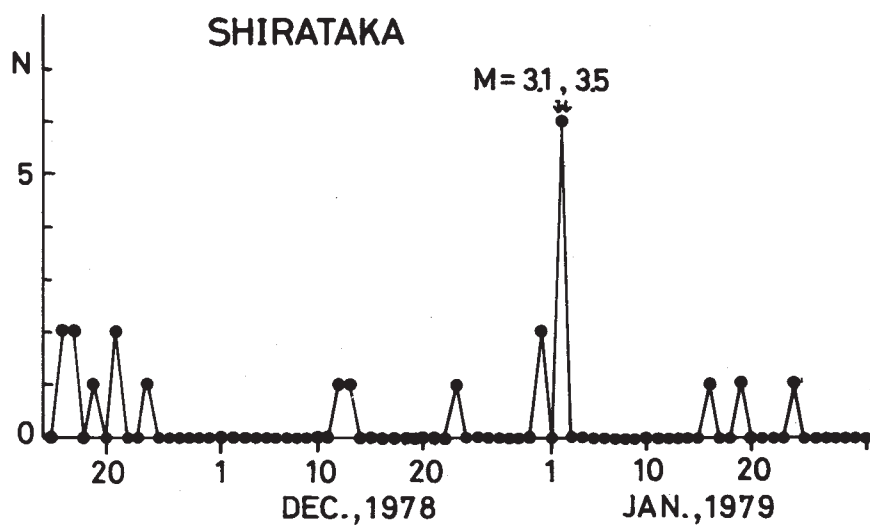
第1図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1978年11月～1979年1月)

Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (November, 1978 - January, 1979).



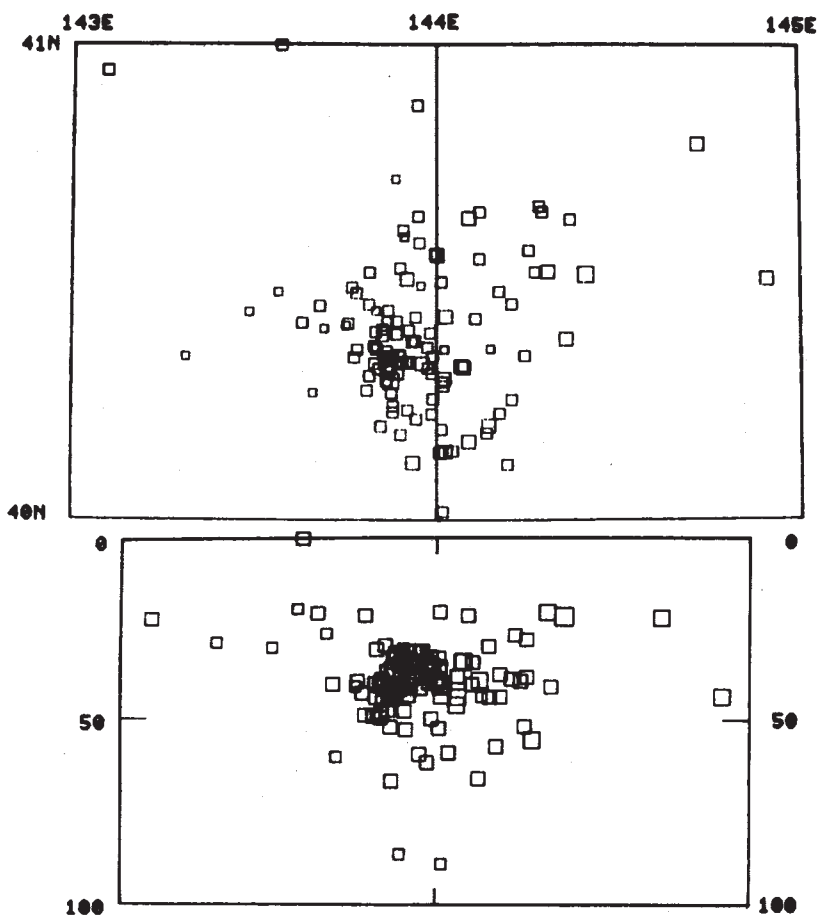
第2図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1979年2月～1979年4月)

Fig. 2 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (February, 1979 - April, 1979).



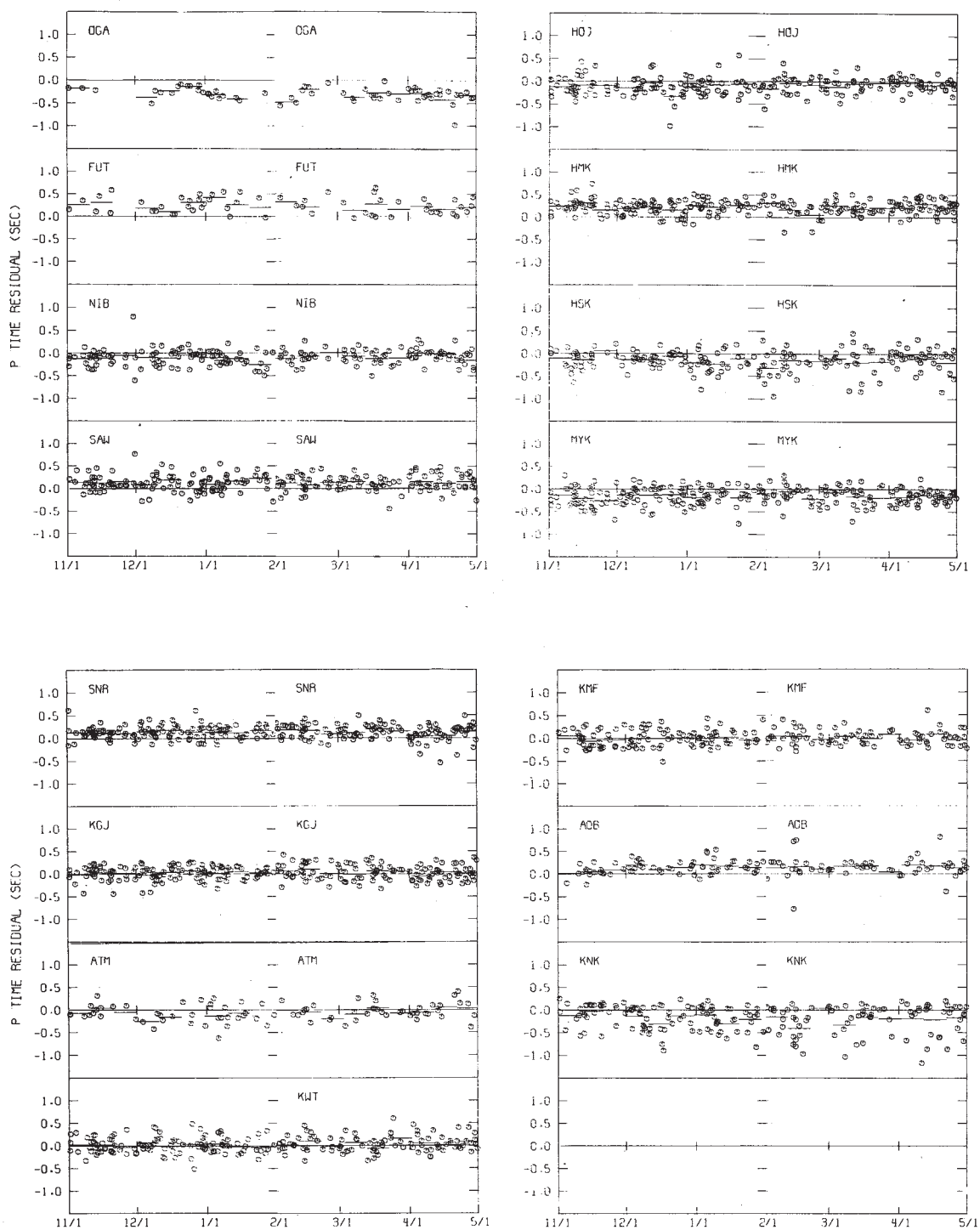
第 3 図 山形県白鷹付近の群発地震の日別頻度分布

Fig. 3 Daily frequency distribution of earthquakes near Shirataka, Yamagata prefecture.



第 4 図 1979 年 2 月 20 日の三陸沖の地震の余震分布

Fig. 4 Hypocenter distribution of aftershocks of the earthquake occurred off Sanriku, Feb. 20, 1979.



第5図 P波走時残差の時間的变化
Fig. 5 Temporal variation of P time residuals.